

1	組 織 名 称 (略 称)	Fibre Channel Industry Association (FCIA) http://www.fibrechannel.org/						
2	分 類	活動目的	◎	仕様策定	－	実装・検証	オープン ソース	該当なし
			○	試験・認証	－	普及・啓発		
			－	その他()				
		対象技術分野	① 通 信 技 術 (コ ア、インフラ関連)		対象サービス		サービスには該当なし	
	技 術 M A P	活動エリア	① 固 定 系 領 域 を 中 心 に 活 動 を 実 施		活動領域		②NW領域の活動を実施	
3	目 的	FCIAは製造業者、システムインテグレータ、開発者、ベンダ、業界プロフェッショナル、エンドユーザによって構成される相互利益を目指す国際的非営利団体。 会員主導のWorking groupsとCommitteesは、データストレージ、ビデオ、ネットワークキング、および SANマネジメントを含む領域をターゲットとしたファイバーチャネル技術のロードマップの策定に焦点を当てている。						
4	組 織 構 成	2016/2017 FCIA Board of Directors: (Feb. , 2017選出) FCIA Officers: •Chairman and President: Mark Jones, Broadcom Limited •Treasure: Craig Carlson, QLogic a Cavium Company •Secretary: J Metz, Cisco Members at Large: •Marketing Chair:Rupin Mohan, Hewlett-Packard •Chris Lyon, Amphenol •David Rodgers, Teledyne LeCroy •Kevin Ehringer – Data Center Systems (DCS) •Steven Wilson – T11 Chair (Non-Voting)						
5	参 加 資 格 費	オープン 会員種別と年会費： •Sponsor Member (US\$20,000/year) •Principal Member (US\$12,000/year) •Associate Member (US\$8,000/year) •Observer Member (US\$2,500/year) •Individual Observer Member (US\$475/year)						
6	主 要 メ ン バ (2018年06月現在) (注1)	主要メンバー： Sponsor Member: 3団体 (Broadcom, Data Center Systems (DCS) ,CAVIUM) うち日本企業： 会員数:11 うち日系企業数: 0						
7	他 団 体 ・ 組 織 と の 関 係	リエゾンなど Ethernet Alliance、SNIA Europe、SNIA. NVM Express						
8	T T C 活 動 と の 関 連 性 (注2)	TTCの専門委員会活動との関係(□関係あり、☒関係なし) 関係する場合の専門委員会名(右欄より選択) 理由: ストレージネットワーク分野であり現在特に検討領域は重ならないが影響力がある団体であると考えられるため調査対象とする。					アイテムを選択してください。	
9	活 動 状 況	定期的にBoard Meetingを開催 Webcast FICON を2か月に一度開催 Plugfest の開催						
10	設 立 時 期	1999 年 秋						

11	本部所在地	Fibre Channel Industry Association 5353 Wayzata Blvd, Suite 350, Minneapolis, MN 55416		
12	関連標準化技術	Gen 6, Gen 5などファイバチャネルの規格 http://fibrechannell.org/category/gen-6-fibre-channel/		
13	権利関係 (IPR Policy, Bylaws など)	IPR Policy Bylaws http://fibrechannell.org/wp-content/uploads/2015/09/FCIA_Bylaws.pdf		
14	備考 (普及状況など)			
15	更新履歴	2018年6月28日	初版作成	担当:j神保(NEC)

(注1) 日系企業とは親会社が日本企業かどうかで判断する。

(注2) 「TTC活動との関連性」とはTTCの専門委員会の活動と関連しているかを示す記載とし、理由には具体的な専門委員会名と関連している部分等を記載する。